

米国テキサス州で2地点目の太陽光発電開発への着手について

電源開発株式会社(以下、Jパワー、本社：東京都中央区、代表取締役社長 社長執行役員：渡部肇史)は、2020年8月、米国現地法人 J-POWER USA Development Co., Ltd. (Jパワー USA ディベロップメント、以下、JPUSA) を通じて、米国テキサス州において2地点目となる太陽光発電プロジェクト(交流出力40万kW)の開発に着手しました。本プロジェクトの工事着工は2021年後半、運転開始は2023年を見込んでいます。

本プロジェクトはJPUSAが太陽光開発デベロッパーであるAP Solar社(APソーラー、本社：米国テキサス州)と共同で開発するもので、Jパワーにとって米国ではテキサス州 Wharton (ウォートン)地点(交流出力35万kW)に次いで2地点目となる再生可能エネルギープロジェクトです。2地点合計交流出力は75万kWです。

テキサス州は日射量が豊富で、米国中でも電力需要の伸びが期待できることから、近年太陽光発電の開発が増加しています。また、本プロジェクトは大需要地であるヒューストン市に近い優位性があります。

Jパワーは、2020年8月3日にジェネックス パワー リミテッド社(以下 Genex 社)と株式引受契約を締結し、豪州での再生可能エネルギー参入を発表いたしました。米国、豪州を含め、これからもJパワーは、再生可能エネルギーをはじめとした海外発電事業の更なる拡大に取り組んでいきます。

<プロジェクト概要>

所在地域	出力見込	建設開始見込	運転開始見込
Refugio 地点：ヒューストン市の南西約200km (レフュージオ)	40万kW(交流)	2021年後半	2023年

<プロジェクト位置図>



【添付資料】

再生可能エネルギーIPPプロジェクト一覧(海外)